



夏本番を迎え、海や山、川などでバーベキューを楽しむ方も多いのではないのでしょうか。日本のバーベキュー人口は約4,500万人とも言われており、多くの方が楽しまれていると思います。家族や友人と楽しい夏を過ごすためにも、バーベキューで注意するポイントを知っておきましょう。

着火剤の継ぎ足しは厳禁!

火を起こすときに使う着火剤はとても便利ですが、取り扱いには注意が必要です。特にジェル状のものは揮発性が高く、引火しやすい成分を含んでいるので、次のような使い方をしてはいけません。



火が弱いので着火剤を継ぎ足す



蓋を開けたまま火のそばに置く

ガスボンベの過熱に注意!

カセットコンロを使うときは、ガスボンベの過熱に注意が必要です。輻射熱により高温になったガスボンベが破裂する危険があるため、次のような使い方をしてはいけません。



コンロ全体を覆うような、大きな調理器具を使う。また、2台以上を並べて使う



炭の火起こしに使う

炭火の後始末は確実に!

炭火は燃え尽きたと思っても、芯の部分に火種が残っていることがあります。バーベキューで使い終わった炭を草むらに捨てたり、砂に埋めたりすることは絶対にやめましょう。炭火の確実な消し方を説明します。

◆バケツに水をくみ、炭を少しずつ入れ約30分放置する



※一度に大量の炭を入れると水が急激に沸騰して危険

◆不燃性の容器に炭を入れて蓋をし、消炭にする



花火は正しい方法で!

花火をするときは取扱説明書をよく読んで、正しい方法で遊びましょう。間違った遊び方をしたことや、やけどを負ったり、視力を失う事故が発生しています。また、水の入ったバケツを用意し、花火をした後は、バケツの水につけて確実に消火しましょう。

◆手持ち花火の注意点

- ・束ねて持たない
- ・人や燃えやすい物に向けない
- ◆打ち上げ花火の注意点
- ・倒れないように固定する
- ・途中で火が消えてものぞき込まない。



新人消防士にインタビュー

市消防本部には今年度、新人消防士が4人配属されました。今回はその4人に、消防士を目指したきっかけや意気込みを聞きました。

●未来の消防士へメッセージ

一緒に現場で仕事を出来る日を楽しみにしています。自然豊かで魅力がいっぱいの京丹後市を共に守りましょう!



しまだ ゆうじ 島田 雄次 (出身: 奈良県天理市)

●どんな消防士になりたい?

自分にしかできない女性の視点で物事を幅広く見て、市民の皆さんに安心していただける対応・活動ができる消防士になりたいです。



まつおか ゆきこ 松岡 侑子 (出身: 島根県松江市)

●消防士のやりがい

事業所への立入検査や避難訓練の指導、救命講習など、現場活動以外にも市民の方々と直接触れ合う機会が多く、やりがいを感じています。



うえだ けいた 上田 溪太 (出身: 弥栄町)

●消防士を目指したきっかけ

地元で人の役に立つことがしたいと考えていたこと、幼い頃から海が好きだったことから、京丹後消防の水難救助隊に入りたいと思ったことがきっかけです。



つばくら りょう 坪倉 諒 (出身: 網野町)

